

**CMU-800 MIDI インターフェース
ユーザーズ マニュアル**
version2.3

1. 各部の説明

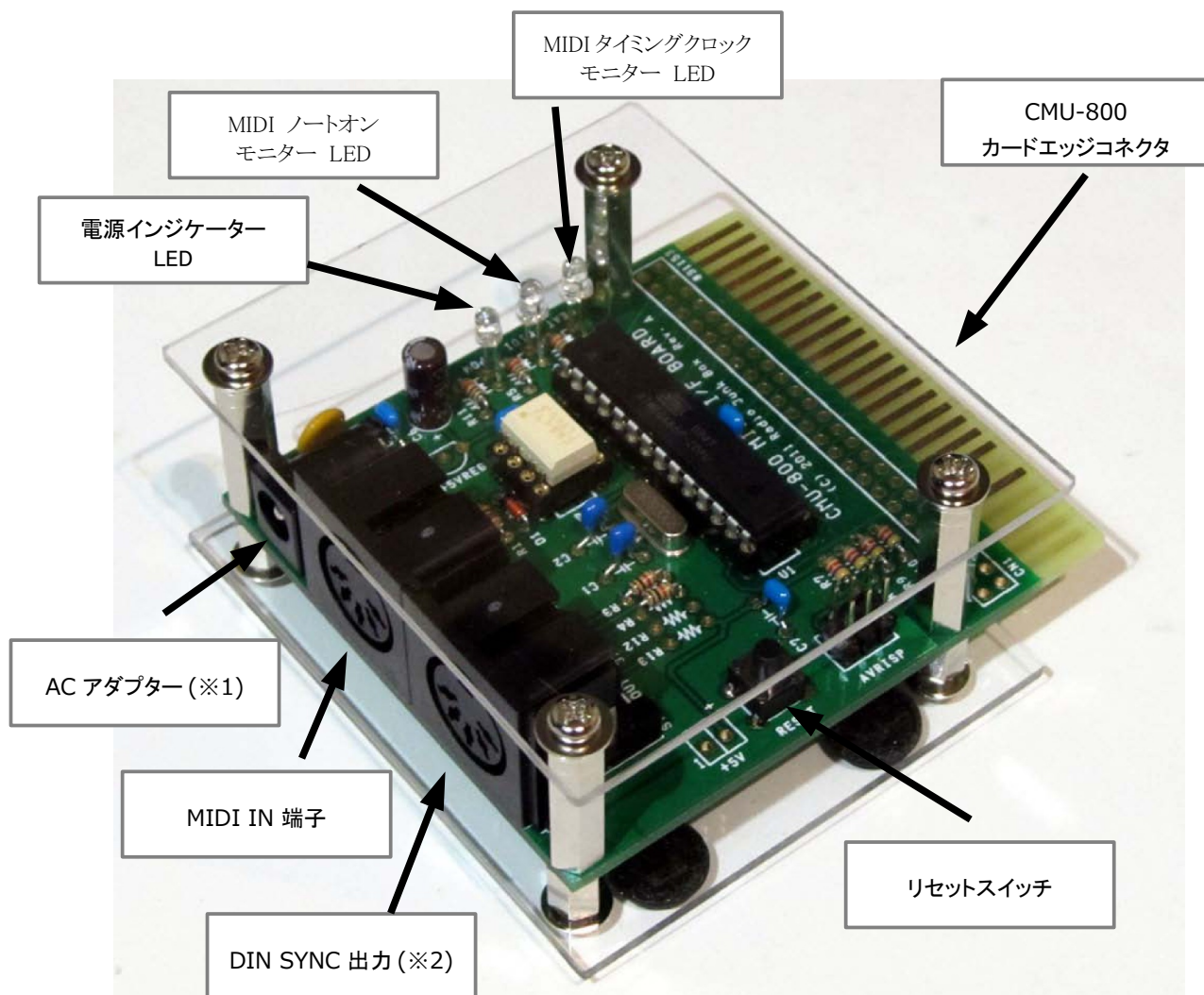


写真1 CMU-800 MIDI インターフェース 各部の説明

※1 9V AC アダプタ端子

電圧 9V 内径 2.1mm センタープラスの AC アダプタを接続します。故障の原因になりますので、**必ず出力電圧が9Vで安定化されている製品を使用してください。**

※2 DIN SYNC 出力

MIDI 信号のタイミングクロック(F8H)に同期した DIN SYNC (SYNC24) 信号を出力します。ただし、MIDI 信号にタイミングクロックが含まれない場合は出力されません。

2. 使い方

- 1 CMU-800 のフラットケーブルを写真2のように**向きに注意**して本インターフェースのエッジコネクタに接続します。(逆向きに接続すると CMU-800 本体及び本インターフェースの故障の原因になります。)
- 2 MIDI キーボードやシーケンサーの MIDI 出力を MIDI IN 端子に接続します。
- 3 必要に応じて、DIN SYNC 出力を TR-606 などの DIN SYNC 入力端子に接続します。
- 4 CMU-800 本体の電源を ON にします。
- 5 本インターフェースに 5V AC アダプタを接続します。このとき電源インジケータ LED (青) が正常点灯することを必ず確認します。
- 6 本インターフェースのリセットスイッチを押します。
※ リセット時に CMU-800 本体から音が出る場合があります。
- 7 MIDI キーボードやシーケンサーから MIDI データを送り演奏します。このとき、MIDI データにあわせて MIDI ノートメッセージモニタ LED (緑) や MIDI タイミングクロックモニタ LED (赤) が点滅します。
- 8 電源を OFF する場合は、先に本インターフェースの AC アダプタを外してから、CMU-800 の電源を OFF にします。

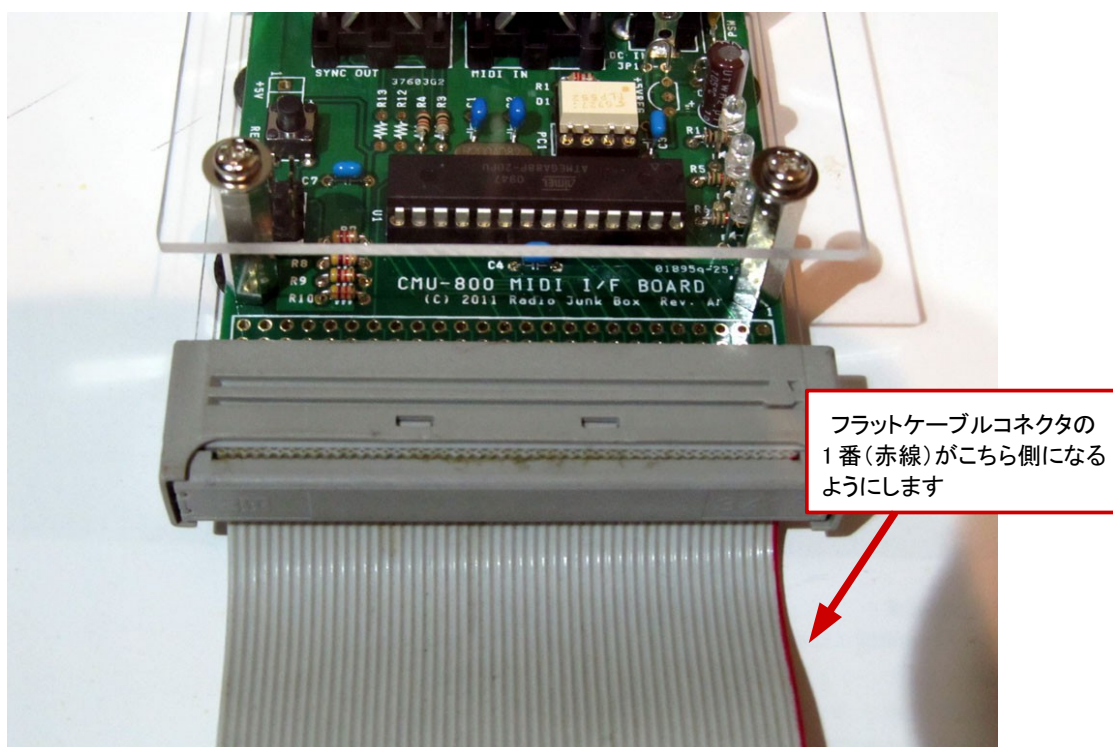


写真2 エッジコネクタに CMU-800 のフラットケーブルを接続

3. MIDI チャンネル対応表

MIDI チャンネル番号と CMU-800 内蔵音源及び CV、GATE 出力の対応は表1の通りです。
この設定は固定のため変更できません。

表1

MIDI チャンネル#	CMU-800内蔵音源	CV OUT	GATE OUT	備考
1	MELODY	CH-1	CH-1	モノフォニック
2	BASS	CH-2	CH-2	モノフォニック
3	CHORD	CH-3	CH-3	モノフォニック
4	CHORD	CH-4	CH-4	モノフォニック
5	CHORD	CH-5	CH-5	モノフォニック
6	CHORD	CH-6	CH-6	モノフォニック
7	—	CH-7	CH-7	モノフォニック
8	—	CH-8	CH-8	モノフォニック
9	CHORD	CH3~6	CH3~6	4音ポリフォニック
10	RHYTHM	—	—	ドラムマップ参照
11~16	—	—	—	—

- 1~8チャンネル(内蔵音源は1~6チャンネル)については、複数のノートオンメッセージを受信した場合、高音優先で出力(発音)されます。
- MIDI 9チャンネルのノートを受信した場合は、コードパート(CH-3~6)の内蔵音源および CV/GATE OUTにより4ボイスのポリフォニック(後発優先)として処理します。
- 内蔵音源の発音範囲はMIDIノート番号24(C1)以上です。それより低いノート番号の場合はC1が出力されます。
- CV出力範囲はCMU-800の仕様により、MIDIノート番号24~87(0~5.25V)までです。
- 内蔵音源は、ピッチベンド、モジュレーションに簡易的に対応しています。(5. 内蔵音源参照)

4. ドラムマップ

内蔵リズム音源と対応する MIDI ノート番号は表2の通りです。
この設定は固定のため、変更できません。

表2

内蔵リズム音	MIDI ノート番号 ()内は GM 音源	備考
BD	35(ABD)、36(BD)	
SD	38(SD) 、40(ESD)	
LT	41(LFT)、43(HFT)、 45(LT)、47(LMT)	
MT	48(HMT)、50(HT)	
CY	49(CR1)、57(CR2)	
OH	46(OH)	
CH	42(CH)	

5. 内蔵音源

本インターフェースは、1～6チャンネルの内蔵音源に対してノート ON/OFF のほか、次の MIDI メッセージに対応しています。

表3

効果	MIDI メッセージ	備考
ピッチベンド	ピッチベンド	範囲 ±2 半音
モジュレーション	CC #01	
モジュレーション波形	CC #16	4 段階 三角波、ノコギリ波、逆ノコギリ波、矩形波 デフォルト: 三角波
モジュレーション周波数	CC #17	8 段階 (0.5Hz～64Hz) デフォルト: 8Hz
モジュレーションデプス	CC #18	4 段階 約±1 半音～約±10 半音 デフォルト: 約±1 半音
デチューン	RPN マスターファインチューニング	±1 半音 max (分解能 約 1.5 セント)
オールサウンドオフ	MM #120	
リセットオールコントローラー	MM #121	デフォルト設定に戻す
オールノートオフ	MM #123	

- CMU-800 内部のマスターオシレータが 2,539,732Hz の時、A=440Hz となるように設定しています。
- MIDI 9 チャンネルのメッセージについては、ピッチベンドとモジュレーションのみに対応しています。

6. その他の注意・制限事項

- 動作が不安定になった場合には、インターフェースのリセット SW を押下してリセットしてください。
- CMU-800 本体の TEMPO コントロールは使用しません。
- CMU-800 本体は製造後 20 年以上経っており、予期せぬ故障が潜んでいる可能性があります。
本インターフェースは実機による動作テストを経て出荷していますので、正常動作しない場合は、CMU-800 本体が故障している可能性があります。
- 基本的に本インターフェース及び CMU-800 本体の故障・動作不良等による修理やファームウェアのアップデート等には応じられません。(ただし頒布後、3 週間以内に生じた初期不良は除きます)

CMU-800 MIDI interface

User's Manual

version2.3

based on CMU-800 MIDI interface user's manual Ver2.2

written by Redio Junk Box 2008-2011

beatnic.jp version

Dec-08, 2012 First edition

May-03, 2020 2nd edition

Copyright beatnic.jp 2012-2020

beatnic.jp